

**道の駅を“学びの場”に**  
**「ミニ防災セミナー」等開催計画 実施要領**  
**道の駅「オライはすぬま」**  
**(案) 第六校**

平成26年5月

特定非営利活動法人 人と道研究会

**開催趣旨**

東日本大震災から3年が経ち、さらなる東北復興が期待されておりますが、一方では巨大地震の切迫も予測され、国民の不安は続いています。

わが国では古来、宿命的な自然災害が繰り返されてきましたが、先人たちは営々と脆弱国土への働きかけを絶やさず、四季織りなす美しい自然の恵みも活かして今日の繁栄を築き上げてきました。豊かな時代に生きる私たちには、安全で健康で快適な国土を次世代に継承する責務があります。

NPO人と道研究会ではそうした趣旨にご賛同いただきたいと、平成17年に創刊し全国の道の駅で無料配布している「道21世紀新聞」（ルートプレス）を通じて国土や道路の安全、防災、環境、地域振興等の重要性を積極的に報じ、「災害常襲列島」への不断の備えが大切であることを訴えてまいりました。

平成24年末、全国「道の駅」連絡会の設立時に岩手県遠野市で開かれた道の駅のあり方等を話し合うシンポジウムの席上、「道の駅を学びの場に！」案を紹介、ご賛同を得たことを受け、25年6月に千葉県南房総市の道の駅「和田浦WA・O！」 同10月に高知県香南市の道の駅「やす」、26年3月に栃木県「もてぎ」で同様のミニ防災セミナーを開催しご好評いただきました。

今後も引き続き、ご一緒に活動いただけます道の駅で順次同様のセミナーを開催する計画ですが、地域の状況に応じてテーマを地域連携、伝統、観光などにも広げ、体験型イベントを取り入れたりすることも考えております。各位のご協力を賜ることができますようお願い申し上げます。

**道の駅を“学びの場”に、実施計画**

**1. ミニ防災セミナー**

多様な人々が自由に出入りする道の駅は、休憩・情報発信・地域連携という本来の機能以外に、地域防災の拠点として新たな役割を果たすことが期待され、また、地域特有の自然、歴史、伝統、習俗、芸能など様々なものを学ぶ場としてもふさわしい機能を備えている。

東日本大震災以来、特に防災に対する国民の関心が高まっている折、地方自治体、防災関連行政機関等が積極的に道の駅に Outreach、有識者やNPO等の協力も得て、脆弱な国土の災害危険度、防災の基礎知識、避難方法などを身につけてもらうセミナーを実施する。

- ・ タイトル：学ぼう！ 災害への備え
- ・ 場 所：道の駅「オライはすぬま」 千葉県山武市蓮沼ハ4826番地
- ・ 会 場：道の駅「オライはすぬま」 中央広場  
※雨天の場合、隣接「蓮沼中央会館 2階会議室」
- ・ 日 時：平成26年6月8日(日) 12:00～13:30
- ・ 主 催：道の駅「オライはすぬま」、千葉県、山武市、NPO人と道研究会
- ・ 後 援：国土交通省関東地方整備局、全国「道の駅」連絡会、関東「道の駅」連絡会
- ・ 協 賛：公益社団法人国土緑化推進機構

◆山武市市民による太鼓演奏など、イベント同時開催

**▽プログラム (案)**

- 1 開会 (12:00～)
  - 2 主催者の挨拶 (12:01～12:07)
- ・ 千葉県 県土整備部災害・建設業担当部長 宮内 常吉

- ・ 山武市長 椎名 千取

### 3 後援の挨拶 (12:10～12:15)

国土交通省関東地方整備局千葉国道事務所長 西村 政洋

### 4 講演 ① (12:15～12:30)

語り継ぐ災害「地震津波災害」

NPO防災千葉 企画部 大野 二三男

### 講演 ② (12:30～12:45)

「元禄つなみの遺構が語る」

元山武市立成東小学校校長 南波 博美

### 講演 ③ (12:45～13:00)

「はすぬまの歴史と災害」

道の駅「オライはすぬま」観光大使 片岡 英夫

### 講演 ④ (13:00～13:15)

「道の駅」の防災上の役割

千葉県県土整備部道路計画課 管理調整班 小川 泰弘

### 講演 ⑤ (13:15～13:25)

千葉県の防潮林について

(公社) 千葉県緑化推進委員会 常務理事 野村 浩

### 5 協賛の挨拶 (13:25～13:30)

(公社) 国土緑化推進機構 募金企画部長 秋元 則行

### 6 閉会 (13:30)

- 司会・進行 NPO人と道研究会

## 2. パネル展示 同時開催

「大震災の記憶と防災・減災展」

東日本大震災をはじめとする災害は多くの人命、資産を奪い、無残な爪痕を残しました。太古から繰り返される地震、津波の悲劇と、「二度と繰り返してはならぬ」との熱い願いからそのつど各地に建てられた津波記念碑。こうした先人の思いを継承し、被災経験・教訓を後世に伝えていくため、震災伝承パネル、被災前後の衛星写真パネル等を各地の「道の駅」で展示します。

東日本大震災の記憶とともに、私たちはこのような大規模災害にどのように立ち向かえばいいのかを共に考える、防災・減災展として、道の駅「オライはすぬま」で開催いたします。

パネル等は津波の威力、震災被害の深刻さとともに、復旧には迅速で国ぐるみの総合策が必要なことを訴えており、地域住民への危機意識、連帯心づくり、備えへの呼びかけ効果を高めます。

- 主催者：道の駅「オライはすぬま」、  
特定非営利活動法人人と道研究会  
後援：国土交通省関東地方整備局、千葉県、山武市、全国「道の駅」連絡会、  
関東「道の駅」連絡会

- 展示内容 ・ A1 パネル スペースに合わせて選定  
・ タイトルスタンド

- 開催期間 (案) 平成26年6月6日搬入  
平成26年6月8日～6月16日(予定)

- 会場：道の駅「オライはすぬま」 中央広場  
※雨天の場合、隣接「連沼中央会館 2階廊下」

## 3. 森の役割を学ぶ写真展

「蘇る山々の緑～日本の森林いまむかし～」

国土の約7割が森林におおわれている日本は「森林大国」ですが、外国産材の進出、後継者不足等による林業衰退が各地に広がり、道の駅周辺でも危機的様相を呈します。その一方、国民の自然志向が高まり、地球温暖化防止に対する役割の再評価も進みました。

「ルートプレス」は、地域緑化推進委員会、公益社団法人国土緑化推進機構、各地の道の駅と連携し、森林の保全・再生による災害防止、地域振興への協力、地球環境への貢献を目指して、道の駅で森林の役割について学べる巡回写真展も開催しています。

- ・ 主催者：特定非営利活動法人人と道研究会、公益社団法人国土緑化推進機構  
共催：道の駅「オライはすぬま」  
後援：林野庁

- 展示内容 ・ 約A1 パネル 26枚の中からスペースに合わせて選定  
・ タイトルスタンド(取納式)  
・ 「地域の緑と地球環境を守る」ことの大切さを普及するための小冊子  
・ 緑の募金箱 1～2個

- ・ 開催時期 平成26年6月6日 搬入  
平成26年6月17日～平成26年6月30日(予定)

